

グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2052

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp



四国山の日

No.1103 2012年2月号

日頃の「研究成果」を発表 ～四国森林・林業研究発表会～

くちやない
四万十市立口屋内小学校の皆さんによる発表、「大好き！わたしたち
のふるさと口屋内～川漁体験をとおして～」

【関連記事3頁】





四国国有林野等所在市町村長連絡協議会

国有林野等所在市町村長連絡協議会を開催

〈企画調整室〉



一月一七日、四国森林管理局において「四国国有林野等所在市町村長連絡協議会」を開催しました。本協議会は、地域社会の連携強化を図り、地域産業の振興、住民福祉の向上に寄与することを目的に開催しているものです。管内七署(所)の

有志協議会の代表世話人である市町村長、新木局長をはじめとする局幹部、林野庁から新島福利厚生室長、矢野施工企画調整室長が出席し、協議会会長である上治馬路村長の議事進行により、「地域における森林・林業再生の取組について」をテーマに意見交換を行いました。代表世話人からは、各有志協議会での議論を踏まえ、次のような要望等がありました。

○国有林と民有林が共同して路網の開設や鳥獣対策などが可能な箇所のリストアップをお願いしたい。

○シカ、サル、イノシシを始めとする鳥獣被害が深刻である。このことから、落葉広葉樹を植栽して、県民の憩いの森として整備したい。また、山頂部と溪流沿いは広葉樹とし、その間を針葉樹とするモデル林を国として設定してもらいたい。

○高知県長岡郡大豊町に大型製材工場が進出することとなったが、この工場が必要とされる木材が年間一〇万^mとということであり、原料確保のため、国有林においても増産を検討して欲しい。

○四万十ヒノキのブランド化の取り組みとして、四万十市においては、市内で産出した木を使用し、地元の大工によって家を建築した場合に

補助を行っているが、特に大径材が不足している。森林管理署の協力をお願いしたい。

このような要望や提言について、熱心な意見交換が行われました。森林管理局としても、これらを踏まえ、「森林・林業再生プラン」の実現に向けて、民有林との更なる連携を図り、「国民の森林」として相応しい国有林の管理経営に取り組んでいきます。



四国森林・林業研究発表会を開催



一月二六日、四国森林管理局大会議室において、「平成二三年度四国森林・林業研究発表会」を開催しました。

「まず、新木四国森林管理局长から、「今回発表される課題は、造林事業の低コスト化、治山施設の新たな取組みやニホンジカによる食害対策、森林環境教育の取組みなど国民のニーズに応えた幅広い内容であり、発表される方が取り組んでいる課題が、これからの森林づくりなどに反映される

等学校及び高知県立高知工業高等学校から、学習活動の一環として取り組んでいる興味深い発表があり、会場から多くの拍手が送られました。

発表を終え、独立行政法人森林総合研究所四国支所の今富支所長を審査委員長とする審査委員による審査の結果、四国森林管理局长賞として七課題（最優秀賞一課題、優秀賞三課題、奨励賞三課題）、一般社団法人日本森林技術協会理事長賞及び（財）日本森林林業振興会会長賞としてそれぞれ一課題が選出され、各受賞者に表彰状と記念品が授与されました。

山工事等における写真撮影業務について、現場にある施設等を活用した写真撮影の取組みが高く評価されました。



考案されたケーブルクレーン用カメラ (四万十署)



最優秀賞を受賞した 徳満さん(左)、猪迫さん(四万十署)

※今回の発表課題と審査結果は八〜九頁のとおりです。

国有林野事業業務研究発表会

〓二課題受賞〓

《指導普及課》



一月一七日、林野庁において、平成二三年度国有林野事業業務研究発表会（三部門）が開催されました。

今回の発表会には、四国森林管理局から四課題を発表しました。

○森林技術部門では「保育作業の省力化〓下刈・除伐作業の省力化の経過報告〓」を森林技術センターが発表しました。また、「滑床山（通称：三本杭）におけるミヤコザサの植生回復の取り組みについて」を四万十川森林環境保全ふれあいセンターが発表しました。

○森林ふれあい部門で「野

根山街道における森林教室の取組みについて」を安芸森林管理署が発表

し、日本林政ジャーナリストの会会長賞を受賞しました。

○国民の森林部門で「みんな

でまろう三嶺の森―NPO・行政・大学の協働による保全活動の事例―」を

三嶺の森をまもるみんなの会と、高知中部森林管理署が共同で発表し、この発表に対しても日本林政ジャーナリストの会会長賞を受賞しました。

なお、今回の研究発表会の内容等については、林野

庁において発表集が作成された後、署等へ配布する予定です。

今後とも、森林・林業に対する多様なニーズに対応していくための技術開発等の取組みに期待しています。

日本林政ジャーナリストの会会長賞の受賞者の皆様おめでとうございます。

【森林ふれあい部門】

「野根山街道における森林教室の取組みについて」

（安芸森林管理署）



左側から平松さん、田中さん、益田さん

【国民の森林部門】

「みんなでまろう三嶺の森―NPO・行政・大学の協働による保全活動の事例―」



押岡さん
（三嶺の森をまもるみんなの会）



川口さん
（高知中部森林管理署）



各地のたより



平成二三年度

第二回技術開発

委員会を開催

〈森林技術センター〉

一二月一四日、四国森林管理局において、第二回目の技術開発委員会を開催しました。

技術開発委員会は、森林生態学、林木育種、遺



第二回技術開発委員会の様子

下げた調査・観察等を検討してはどうか。

完了課題報告①「立木密度の変化による林床植生等への影響調査」については、コストのみでなく、材質及び材価等に視点を置いた調査・試験等の検討。

②「ニホンジカ囲いわなに関する研究」については、二年間での完了は短い、多くの課題の中から掘り下げた調査・観察等を検討願いたい。

新規課題「囲いわなによる効率的シカ捕獲試験」については、確実に捕獲できる簡易で安価なわなに期待している等の多くの意見が出されました。

今回、頂いたこれらの意見等については、今後の技術開発の試験設計調査に活かしていくこととさせていただきます。

感謝状の贈呈

山火事を未然に防ぐ

〈国有林野管理課・四万十森林管理署〉

謝状の授与と記念品の贈呈を行いました。

この功績は、平成二二年五月一日、しゃくなげ小屋同好会の森本氏をはじめ八名で四万十森林管理署管内の不入山国有林へアケボノツツジ等の散策登山に訪れ山頂に辿り着いたところ、単独で登山をしていた男性が不注意で起こした失火の発生現場に遭遇、火災は既に、約一〇メートル四方、炎



「しゃくなげ小屋同好会に感謝状贈呈」

は約二メートルの高さまで及んでいたという事です。同好会のメンバーは、危険を顧みず直ちに足で踏みつけ、また、飲み水として携行していた

水筒のお茶をかけるなどにより、一丸となって消火活動を行い鎮火させたものです。

しやくなげ小屋同好会の消火作業がなければ、大きな山火事になり、失火を起こした登山者への被災も危ぶまれた状況であり、本消火作業について著しい功労があったことから、四国森林管理局長表彰を行いました。

森林教室



教科書の内容で 森林教室

〈徳島森林管理署署〉

一月二三日、徳島市川内北小学校で小学五年生(一二五名)を対象とした森林教室を行いました。

今回の森林教室は、社会科学学習の「環境を守る

人々の授業で、生活環境を守る・国土を守るという内容で学校から依頼され実施したものです。

まず、森林の働きを説明し、DVD「木材を使って地球を救う」の鑑賞、そのあと販売事業や治山事業など森林管理署の仕事について話しました。生徒たちはメモをとりながら真剣に聞いていました。

質問時間には、「どうやって樹齢を調べているのですか?」「木の種類をどうやって見分けているのですか?」などの質問もあり興味津々でした。

また、森林教室の冒頭、「木を切ることは悪いこと?」と質問したところ、全員が手を挙げていましたが、最後にもう一度聞くと手は挙がりませんでした。間伐など森林整備の重要性が理解されたものと思います。

当署では、森林の公益的機能や木材利用についての理解を深めてもらうため、地域や学校の要望に応えつつ、今後とも計画的に森林環境教育を実施していきたいと考えています。

はじめての林業体験 〈株菅組 体験林業〉

〈香川森林管理事務所〉

一月一五日、香川県綾歌郡綾川町檜原国有林において、(株)菅組の社員一二名による体験林業を行い、鋸を使ったヒノキの伐採や枝打ちを行いました。

(株)菅組は、創業が明



菅組の社員の方による間伐作業

治四二年と、およそ一〇〇年の歴史を持つ総合建設会社であり、特に宮大工の系譜にあることから、社寺をはじめとして、公共施設、住宅などの建築に数多くの実績があります。また、代表取締役社長の菅徹夫氏は、「近くの山の木で家をつくる」を提唱・実践する「讃岐の舎づくり倶楽部」の代表を務めており、香川県地域材の利用促進に積極的に取り組んでいます。

今回の体験林業は、菅社長から、社員に対して、林業体験を通じて環境保全への意識を一層高める機会を提供したいとして申請があったものです。はじめに当所職

員から、作業方法について説明し、伐採の実技を行った上で体験林業を開始しました。当日は、風がなかったものの、当該箇所は枝の張ったヒノキが大部分で、かかり木処理に苦労しながらも、当所職員の指導を受け作業を行いました。

参加した社員の皆さんからは、「思うように鋸で伐れない」、「思った方向に倒れない」といった声

が聞かれ、林業の難しさを感じていたようでした。また、現在のようにチェーンソーが導入される以前は、大径木も全て鋸で伐採していたことに対して、先人の苦労に思いを馳せていました。

作業終了後は、自然の中で労働したことによる心地よい疲労感からか、

最後に、菅社長から、今後については会社の社会貢献活動として、森林の整備・保全に取り組んでいきたいとして、国民参加の森林づくりである「社会貢献の森」の協定締結の意向が示され、当所としても協定締結に向け協力していくこととします。

最後に、菅社長から、今後については会社の社会貢献活動として、森林の整備・保全に取り組んでいきたいとして、国民参加の森林づくりである「社会貢献の森」の協定締結の意向が示され、当所としても協定締結に向け協力していくこととします。

最後に、菅社長から、今後については会社の社会貢献活動として、森林の整備・保全に取り組んでいきたいとして、国民参加の森林づくりである「社会貢献の森」の協定締結の意向が示され、当所としても協定締結に向け協力していくこととします。

日本一名前の長い 中学校で森林教室を 実施

〈愛媛森林管理署〉

一二月一九日、日本一名

高知県宿毛市愛媛県南宇和郡愛南町篠山小中学校
組合立篠山中学校の二年

生五名を対象に、森林教室を開きました。

これは、総合的な学習の時間を使い「身近な森林の大切さや自然環境のすばらしさを理解させること」を目的として、篠山中学校からの依頼により平成二〇年から行っているものです。

まず、当署森林ふれあい係長と南宇和森林事務所森林官が、森林の役割や人工林の保育作業についての説明を行って質問を受けました。父親が林業に従事している生徒が二名いたため、専門的な質問もありましたが、他の生徒や先生方にわかるようにとできるだけ専門用語を使わないよう、イラストや写真を使い工夫しながら説明を行いました。

高知県宿毛市愛媛県南宇和郡愛南町篠山小中学校
組合立篠山中学校の二年



質問をしている生徒

ら、完成前に予定時間が終了となりましたが、「カゴづくりは楽しかった。完成したら写真を送ります。」といった感想が聞かれました。

今後とも、当署では、森林環境教育を通じ、森林の大切さや自然環境のすばらしさなどを伝えていけるように取り組んで参ります。

その後、経営係長が講師となり、事前に準備していた「ツヅラフジ」を使い「カゴづくり」を行いました。経営係長からは、「人工造林地では邪魔者のつる類ですが、こういった利用方法もあります。」との説明等

その後、悪戦苦闘しながらかごを編みました。残念なが



つるカゴづくりの説明

四国森林・林業研究発表会課題及び審査結果

発表順	発表課題	発表者		審査結果
		所属	氏名	
1	教科書とリンクした補完プログラム	四万十川森林環境保全ふれあいセンター 自然再生指導官	古味 敏光	四国森林管理局 局長賞 (優秀賞)
2	住宅建築用の端材を活用した木工教室	高知市一ツ橋小学校区青少年育成協議会 会長 和建設株式会社 シンカ事業部工事主任	大谷 清 辻 信一	
3	屋島国有林における落石対策の検討と整備～優先順位判定と実施状況について～	香川森林管理事務所 主幹 (治山第二担当)	澤村 昭文	(財)日本森林林業振興会会長賞
4	工事箇所等における写真撮影の方法について	四万十森林管理署 治山課長 治山第二係長	徳満 千秋 猪迫 啓司	四国森林管理局 局長賞 (最優秀賞)
5	「三嶺山城におけるニホンジカの食害跡地の初期遷移とヤマヌカボによる緑化」	高知大学理学部 生物科学コース4年 生物科学コース4年 高知中部森林管理署 流域管理調整官	吉原 良 町田 華澄 川口 文明	四国森林管理局 局長賞 (優秀賞)
6	「津志嶽 ^{っしだけ} シャクナゲ郷土の森」の設定について	つるぎ町役場 地域創造課 係長 徳島森林管理署 流域管理調整官	大島 理仁 柏木喜代幸	
7	ツリーシェルターを用いた低コスト造林について	住友林業フォレストサービス株式会社 森林企画部係長	川島 義紀	一般社団法人日本森林技術協会 理事長賞
8	溪流生態系に配慮した治山施設	愛媛森林管理署 治山第一係長 治山第二係長	福田 薫 浜田 淳史	
9	大好き！わたしたちのふるさと ^{くちやない} 口屋内一川漁体験をとおして	四万十市立 ^{くちやない} 口屋内小学校 5年生 5年生 6年生	上戸 星空 渡辺 舞奈 松田 侑也	四国森林管理局 局長賞 (奨励賞)
10	段ノ谷山国有林を活用した地域活性化について	佐喜浜 ^{さきはま} の源木 ^{げんき} を育てる会 会長 安芸森林管理署 森林ふれあい係長	田村 拓 吉田 純一	
11	箱わなによるシカ捕獲試験 ～経過報告～	四国森林管理局 森林技術センター 森林技術普及専門官	鷹野 孝司	四国森林管理局 局長賞 (優秀賞)

発表順	発表課題	発表者		審査結果
		所属	氏名	
12	竹の利用について	高知県立四万十高等学校 自然環境コース3年生 普通科 3年生	酒井 千尋 藤本 真代	四国森林管理局 局長賞(奨励賞)
13	大山岬あずまや製作 project	高知県立高知工業高等学校 建築科3年生	楠瀬 遙 小松 陸男 坂本 香	四国森林管理局 局長賞(奨励賞)
14	抵抗性マツ試植検定林 における成育現況につ いて ※特別発表	(独) 森林総合研究所 林木育種センター 関西育種場 育種研究室長 研究員 四国増殖保存園 増殖保存係 契約職員	磯田 圭哉 岩泉 正和 河合 貴之 岡村 政則	
15	愛媛県の5万分の1土 壌図のGIS化とス ギ・ヒノキ地位級分布 図の修正 ※特別発表	愛媛県農林水産研究所林業研究センター 研究指導室長	豊田 信行	
16	徳島県の低コスト育林 への取組 ※特別発表	徳島県立農林水産総合技術支援センター 森林林業研究所 主任研究員 主任研究員	金磯 牧夫 西澤 元	
17	シキミのフシダニ被害 の防除技術に関する研 究 ※特別発表	高知県立森林技術センター 主任研究員 チーフ(森林保護担当)	藤本 浩平 宮田 弘明	
18	低コスト育林に関する 研究 —スギ植栽地における 下刈り対象木の競合度 合いと成長の関係— ※特別発表	(独) 森林総合研究所 四国支所 研究員	北原 文章	

